

庭園管理の改善について

公益財団法人 山梨県下水道公社
峡東浄化センター

1 はじめに

平成25年度現在、供用開始から24年経過した峡東浄化センターの植栽については、植物が成長すると共に病虫害も増加してきており、高中木の剪定や薬剤防除に係わる費用負担の増大が懸念されている。

このような状況のなか、本調査研究では当浄化センターの植栽について現状の生育状況を整理し、下水処理場としてふさわしい景観を保持するよう余分な植栽の除去や植栽計画の見直しなどを行うことで、効率的な庭園管理手法や管理コストの低減が図れるよう調査研究を行った。

2 庭園管理の概要

峡東浄化センター及び汚水中継ポンプ場等の庭園管理については、主に、高中木剪定、除草剤散布及び病虫害防除を業務内容とした「庭園管理業務」と、低木整姿、除草、芝刈り、花壇管理及び園地清掃を業務内容とした「場内美化作業」に分離して実施している。

また、峡東浄化センターにおいては、平成22年度から平成24年度及び平成25年度から平成27年度にかけて、「庭園管理業務」を運転管理等包括委託業務の一部として包括して委託しており、包括している内容は作業日の調整や場内美化作業との連携を考慮し、性能発注ではなく仕様発注を継続したものとなっている。

3 調査内容

(1) 植栽状況調査

現状の植栽状況（樹木名称、樹木数など）を調査した。今回の調査では寄植えなどの低木は樹高に大きな変化は無いため対象とせず、高木（小、中、大）を対象とした。

(2) 植栽問題点確認及び今後の対応

植栽状況の調査結果から、下水処理場にふさわしい景観・美観を保持しているかを確認し、改善が必要な問題点について今後の対応を検討した。

4 調査結果・考察

(1) 植栽状況調査

現状の植栽状況の調査として、浄化センター内の庭園を植栽場所毎（建物周り等）にブロック分けし、各樹木の名称を確認・整理するとともに、各樹木に管理番号と樹木名を記入した名板を設置した。名板の設置状況を写真4-1に示す。

樹木の名称や植栽箇所を確認・整理することで、浄化センター庭園に関する設計思想について想定ではあるが再確認することができた。峡東浄化センター内で多く見られる松については、川沿いに植えられているものは防風林として、また、水処理施設周辺に植えられているものは水辺の松林をイメージしていることが想定される。

ブロック毎におおよその樹高測定を行い、ブロック毎の現在の樹木の高さを整理した。

樹木の生育状況を把握することで現在の状況が下水処理場にふさわしいものであるかの考察や問題点の抽出などに役立てることが出来た。



写真4-1 名板の設置状況

(2) 植栽問題点等確認及び今後の対応

水処理棟東側に植えられている松は、水処理棟躯体の直近まで植えられているために松の葉が水処理棟上（池上）に落ちて美観に対して長期間影響があることや、水処理躯体への影響が懸念される。そのため、直近の松については現状は大幅な剪定により落ち葉の影響を回避することができるが、本来は間引きとして除去することが望ましい。しかし、病気等が無い限り、定期的な剪定をすることが妥当と思われる。落ち葉の状況を写真4-2示す。

渋川沿いに植えられているシラカシとイチョウ、また近津川沿いに植えられている松は、現在樹高が高い高木に成長している。これらの樹木はこれまで剪定などの管理費の増大を抑制するためにほとんど剪定の対象としていなかった経緯があるが、場内道路上に枝が張り出す状況となっているため、今後は定期的に剪定をすることで車両の通行上や景観上などで問題がないように管理していく必要がある。

枝の張り出し状況を写真4-3～4-4に示す。



写真4-2 落ち葉の状況



写真4-3 張り出し状況（渋川沿い）



写真4-4 張り出し状況（近津川沿い）

水処理棟直近及び近津川沿いの松の剪定に必要な費用は従来の庭園管理費で相殺可能と思われるが、渋川沿いのシラカシとイチョウの剪定を適切に行うためには、年間約数万円庭園管理費を増加する必要がある。

浄化センターの庭園では、これまでに植栽の一部にカイガラムシの発生が確認されているため、庭園管理業務でカイガラムシ防除について高木・低木の樹木を対象に年4回実施している。カイガラムシの直接的な被害はないが、樹木の美観上好ましくないことから極力その発生を抑制することが望ましい。薬剤散布の方法を工夫することである程度その発生を抑制することができると思われるため、カイガラムシの発生しやすい樹木（高木・低木共）を選別して効率のよい薬剤散布をする必要がある。

樹木（コブシ）に寄生したカイガラムシの成虫の状況を写真4-5に示す。

松枯れを確認し伐採・処分した箇所については、今後付近の松の状況を注視し、薬剤散布を工夫するなど被害の拡大を防止する必要がある。



写真4-5 カイガラムシ寄生状況
(H25.12時点)